

スチュワードシップ活動

No.2024-99

2024 年 11 月 1 日

責任投資推進部

ICGN 主催「Global Stewardship Disclosure Awards」の受賞について

- 第一生命は、国際コーポレートガバナンス・ネットワーク(以下、「ICGN」)が主催する「Global Stewardship Disclosure Awards」(以下、「本アワード」)のアセットオーナーの部において最優秀賞に次ぐ「COMMENDATION」を受賞しましたのでお知らせします。日本の機関投資家として初の受賞となります。
- 本アワードは、スチュワードシップに関する方針や取組みに関して優れた情報開示を行っている機関投資家を表彰することを目的として ICGN が 2020 年に創設した賞で、今回が 4 回目の開催となります。

【本アワードの受賞理由】

- ◆ 機関投資家および「ユニバーサル・オーナー」としての役割を明確にし、責任投資(ESG 投融資とスチュワードシップ活動)を推進している点
- ◆ エンゲージメント活動の成果を含む責任投資に関する取組みを包括的に分かりやすく開示している点
- ◆ ウェブサイトや開示資料において、英語での情報も提供している点

- 当社は責任ある機関投資家として、中長期的・安定的な運用収益の確保と、持続可能な社会の形成への貢献の両立に向けて、スチュワードシップ活動を含む責任投資の高度化を継続的に推進するとともに、その情報開示にも積極的に取り組んできました。2019 年度以降、保険契約者、株主、取引先、地域社会など、すべてのステークホルダーの皆さまに向けて、責任投資に対する基本的な考え方や具体的な取組内容をまとめた「責任投資活動報告」を作成・公表しています。さらに 2024 年度からは、当社グループのサステナビリティ全般に関する考え方や活動をより分かりやすくお伝えするため、第一生命ホールディングスが発行する「サステナビリティレポート」に当社の責任投資活動報告を包含し、開示のさらなるレベルアップにも取り組んでいます。
- 当社は今後も、責任投資の高度化に継続的に取り組むとともに、幅広いステークホルダーの皆さまに対して透明性の高い情報開示を行っていきます。

【ICGNの概要】

- 1995 年発足。コーポレートガバナンスとスチュワードシップの向上を通じ、効率的な市場と持続可能な経済の発展推進を目的とした団体。当社は 2019 年に国内生命保険会社として初めて加盟。
- グローバルのアセットオーナー・アセットマネージャーなど、45 か国、260 超の機関が加盟(AUM: 運用資産残高の総額は約 77 兆ドル)。

※「ICGN 主催 Global Stewardship Disclosure Awards」はこちらの URL からご覧いただけます。

<https://www.icgn.org/icgn-global-stewardship-disclosure-awards>

※「責任投資活動報告 2024」はこちらの URL からご覧いただけます。

https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ri-report_015.pdf

※「サステナビリティレポート 2024」はこちらの URL からご覧いただけます。

https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/report/2024/pdf/index_001.pdf